



優秀賞



地域住民による用水路の泥さらい



十石堀の歴史や役割を説明



十石堀での校外学習

農業農村
分野350年受け継がれる「十石堀用水」を
後世に残す歴史と維持管理

取組概要

十石堀用水は、1669年に地元農業者自らの手で開通させた約13kmの農業用水路である。建設から約350年が経過した現在でも、水源から2kmは、自然の地形を活かした当時の姿のまま利用されており、水田78haに豊かな水を届けている。当該施設の維持管理は、「水番」や「堀番」と呼ばれる地元の協議会員によって、落ち葉や泥さらい、水量調整などを定期的に行われており、また、地元の小学生を対象にした校外学習を開催することで、歴史と役割を継承している。2019年には、歴史的背景と地元住民による保安全管理が評価され、「世界かんがい施設遺産」に登録された。

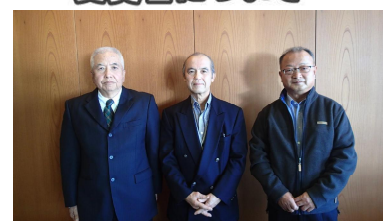
受賞理由

350年の歴史ある十石堀用水を活用し、次世代を担う地元小学生を対象とした十石堀の歴史を学ぶ校外学習や、観光客に向けた十石堀探訪ツアーを開催することで、地域連携や地域の活性化が図られていることが評価された。

取組のポイント

当該組織は、地元住民と連携して維持管理を実施している。また、地元住民のガイドによる小学生を対象とした農業用水路の学習会や十石堀探訪ツアーと北茨城市の粘土を使った陶芸体験を組み合わせたイベントを開催し、地域と連携して十石堀の歴史と役割を後世に伝える活動を行っている。

受賞者について



受賞者

十石堀維持管理協議会

コメント

この度は「優秀賞」という名誉ある賞を頂き大変光栄に存じます。十石堀用水は、江戸時代に農民たちの労力で開削され、現在まで地域住民により守り継がれてきました。現代に生きる私たちに課された使命は、歴史的偉業を後世まで継承することだと考えております。当会の取り組みが評価されたことに改めて感謝申し上げますとともに、今後もメンテナンスを支える活動の推進に努めて参ります。

団体概要

十石堀維持管理協議会は、十石堀用水の受益流域にある松井・日棚・栗野三地区の地域住民が協力して用水路の維持管理を実施するとともに、十石堀用水の歴史的偉業を後世に伝えることを目的とした任意団体です。

問い合わせ先

十石堀維持管理協議会事務局
(北茨城市役所農林水産課)
電話：0293-43-1111
mail：nousui@city.kitaibaraki.lg.jp